

講義名	キャリア基礎論		
科目区分	キャリア科目		
担当教員	前川 明		
開講期・曜日・時限	前期 金曜日 3時限	授業形態	
履修開始年次	2年生	単位数	2
		備考	

主題と概要

受講生は変化する日本の労働市場において、多様な大学生の進路について学ぶ。その多様化する進路を自ら選択できるように、実社会の事例を取り上げることで将来をイメージしていく。就職だけでなく人生全体を考え、自らの夢に向かうために、社会の現実と自己を照らし合わせて自分の目標を明確にし、新たな自分を創り上げていくことを目的とする。

到達目標

- 日本の労働市場を知ることによって大学生の就職環境について説明することができる。
- 業界や職種などの違い、働き方（ワークスタイル）を理解し、自分の希望する仕事の絞り込みができる。
- 社会が求める人材像や能力を知ることによって将来のキャリアに向けて学生時代の目標設定ができ、その習得プロセスを計画して、充実した学生生活を過ごせる。

提出課題

毎回の授業では、授業内容に関してミニレポートを提出
また、課題レポートを提出する

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバック

課題（レポートや小テスト等）を提出した次の授業で、課題の全体講評を実施する。また、毎回の授業で提出するミニレポートについてはクリッカー（Respon）を使用し、次の授業の冒頭で、前回授業のミニレポートの内容（感想、質問）を紹介し、必要に応じて、解説、回答を行う。

評価の基準

- 毎回の授業に関連してのミニレポートの作成（45点）
- 課題レポート（宿題）（10点）
- 企業で求められる基礎能力（筆記試験）の小テスト（10点）
- 期末レポート（35点）

履修にあたっての注意・助言他

- この授業はいずれ社会に出て行くための練習の場でもあるため、社会生活を送る上で必要なルールやマナー（時間を守る、私語を慎む等）を守ること。
- 授業の最後に参考書籍の紹介をするので、それらを読むことが授業内容を理解する上で非常に役立つ。
- 特に先輩達の就職活動について報道されるニュースについては出来るだけ見るようにするのが望ましい。
- 提出課題（課題レポートなど）は必ず提出すること。

教科書
. 使用しない。

プリント資料及び参考文献

その都度、資料の配布と参考文献を紹介する。

授業計画

- 1 授業概要説明
- 2 大学生の進路
- 3 卒業後の人生設計
- 4 就職と転職
- 5 働き方研究①～企業で働く～
- 6 働き方研究②～公務員として働く～
- 7 働き方研究③～独立して働く～
- 8 職種研究①～営業・販売の仕事～
- 9 職種研究②～物を作る仕事～
- 10 職種研究③～管理する仕事～
- 11 社会人のコミュニケーション
- 12 社会で求められる基礎能力①
- 13 社会で求められる基礎能力②
- 14 就職活動の準備
- 15 まとめ

授業形態（アクティブ・ラーニング）	
ア：PBL（課題解決型学習）	
イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）	
ウ：ディスカッション、ディベート	
エ：グループワーク	
オ：プレゼンテーション	
カ：実習、フィールドワーク	

準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

メディア（インターネット、テレビ、新聞など）で取り上げられる、大学卒業後の進路に関わるニュースを毎日1時間はチェックすること。また、授業内で紹介する参考文献はできるだけ読んでおくこと。 具体的な方法は授業で適宜、紹介する。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

授業内での設問や毎回授業のミニレポートはクリッカー（Respon）を使用し、授業中の教員からの設問についてはリアルタイムで意見の解説を行い、授業最後に回答するミニレポートについては次の授業の冒頭で、前回授業のミニレポートの内容（感想、質問）を紹介し、必要に応じて、解説、回答を行う。

実務経験の有無及び活用

実務経験あり
小売業での販売職（3年）、洋菓子メーカーでの人事（採用・教育）（5年）を経て、その後、15年間、キャリアコンサルタントとして大学生の就職支援、キャリア教育、転職者の面接指導、面接のセミナー、企業の採用支援（面接代行）に従事している。その経験を生かして、大学での学びや大学生活（課外活動など）での経験が、どのように社会で役に立つのかを事例を交えて解説を行う。

備考